

MHB 研究会会員の皆様

MHB 研究会は、国内外の複数言語環境にある学習者が、読み書きも含むマルチリンガル能力を身につけられるような教育を目指して、その方法、理論、研究方法を探ります。

2016 年度の大会の日時が決定しましたのでご案内いたします。ぜひ、2016 年のご予定の中にお入れ下さい。

また、研究大会での口頭発表、ポスター発表、デモンストレーションを募集いたします。募集要項をご覧の上、奮ってご応募下さい。

日時：2016 年 8 月 8 日（月）午後、8 月 9 日（火）終日

開催場所：お茶の水女子大学（〒112-0012 東京都文京区大塚 2 丁目 1-1）

<http://www.ocha.ac.jp/help/accessmap.html>

\*（受付は南門近くの文教 1 号館 1 階予定しています。南門は 7:00-21:00 の間開いています）

テーマ：継承語教育と超多様性

2016 年度 MHB 研究大会では、継承語教育と超多様性（super-diversity）をとりあげます。「超多様性」とは、人の移動における多様性が急激に進み、その理解にはこれまでに使用されてきた民族という括りではなく様々な個人的・社会的背景要因や意思を含む複雑な要素が関与する状態を指します。世界各地の継承語教育現場は、この現象への対応を求められています。

プログラム：

8 月 8 日（月）

午後①：基調講演 1 「これまでの継承語教育と今後の課題」 中島和子氏

午後②：研究発表（口頭発表・ポスター・デモンストレーション）

8 月 9 日（火）

午前：基調講演 2 「多様化するニーズとは：継承語学習者の超多様性を考察する（Addressing super-diversity: Identifying various needs of our heritage language learners）」（仮題）坂本光代氏

実践報告 「多様性に対応した継承日本語教育の実際」（仮題）中野友子氏

ライフ・ストーリー「継承語話者当事者の語り」（仮題）（交渉中）

午後：研究発表（口頭発表・ポスター・デモンストレーション）

\* 部会 (SIG) の時間を 8 月 8 日 (月) または 9 日 (火) に設けます。

\* 詳細は研究発表の件数に合わせてプログラム詳細を決定した後、6 月半ば過ぎにご連絡いたします。

\* 初日 8 月 8 日 (月) 午前中に科研費研究 (「平成 24 年度~平成 28 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (研究代表者: 真嶋潤子、課題番号 24320094) 「外国人児童生徒の複数言語能力の縦断的研究 -何もなくさない日本語教育を目指して」) の研究成果報告会が同会場にて開催されます。

\*\*\*\*\*

## 【口頭発表、ポスター発表、デモンストレーション募集要項】

### I. 募集内容:

MHB の研究領域に関連するもので、未発表のもの。

### II. 発表言語:

日本語、英語

(ただし、例示のため、他言語の単語などが含まれることは可能)

### III. 締切日:

2016 年 5 月 31 日 (火) 正午 (東京時間: UTC+9) 必着

### IV. 申し込み先:

2016 年度 MHB 研究会大会実行委員

2016MHB@gmail.com

### V. 応募資格:

応募は会員に限りますので、非会員の場合は研究会ウェブサイトの「入会案内」  
<http://mhb.jp/admission> の説明に従い、入会手続きをおとりください。

筆頭発表者だけでなく共同発表者も全員会員である必要があります。

※1 人の会員が 2 件以上の発表で筆頭発表者となることはできません。

※共同発表者の方も全員大会に出席してください。

### VI. 発表形式:

#### 1. 時間

口頭発表: 20 分、質疑応答 10 分

ポスター発表・デモンストレーション: 60 分

## 2. 形式

口頭発表：

はじめの 20 分は発表者から聴き手に向けての一方向の発表。

その後 10 分間の質疑応答。必要に応じてパソコン等の機器の使用が可能。

ポスター発表：

ポスターを用いて、聴き手との質疑応答や意見交換を行う。(ポスターサイズはA0判 <84 cm×119 cm>またはそれに準ずるサイズで、1枚以内)

ポスター以外に教材等の展示を希望する場合は、事前に事務局への確認が必要。

デモンストレーション：

教材や教授法などの開発や実践の成果をパソコンや実物で提示し、

聴き手がそれに触れられるようにしつつ、質疑応答や意見交換を行う。

パソコン及び掲示物の使用が可能。

## VII. 応募要領

(1)応募者の個人情報、メールの添付書類としてお送りください。

※「応募者情報フォーム」をウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

(2) 発表題目とその概要は以下の指示に従い、メールの添付書類としてお送りください。

※「原稿作成ガイド」をウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

## VIII. 採否判定の観点

■口頭発表の場合：

1. テーマが MHB 研究会にふさわしいか

2. 研究課題が母語・継承語・バイリンガル教育の実践と研究の向上に貢献するものかどうか

3. 研究論文の場合には研究動機、先行研究のまとめと研究の位置づけが、実践研究の場合にはその実践の意義が、それぞれ研究課題、研究方法とともに明記されていて結果と考察が含まれているかどうか

4. 先行研究等と比較して、発表内容に特色、独創性、意義が認められるかどうか

■ポスター発表／デモンストレーションの場合：

1. テーマが MHB 研究会にふさわしいか

2. これまでの研究・実践・教材等と比較して、研究内容に特色、独創性、意義が認められるかどうか

IX. 採否連絡：

査読は複数名の査読者により応募者名を伏せて行い、発表者を決定します。

結果は、6月23日（木）までにメールにて通知致します。

採択にあたって応募要旨の修正を求められた方には、7月13日（水）までに訂正原稿をご提出いただきます。

2016年度大会実行委員

2016MHB@gmail.com

\*研究会ウェブサイト <http://mhb.jp>